

< 審判委員会補足資料 >

苫小牧地区ミニバスケットボール連盟

審判委員長 菊池 宣匡

新ルールの適用について

○トラベリングのとらえ方について

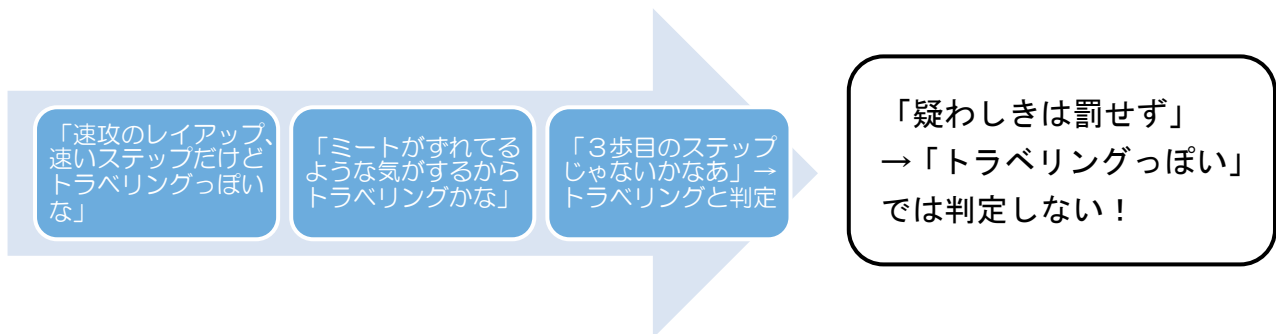
新ルールの中でも、特にミニバスの試合で影響のあるトラベリングについての参考資料をお配りします。文章だけでは分かりにくい点も多いかと思えます。JBAのHP「コーリングガイドライン」では、サンプル動画も紹介されています。整理が難しいのは、「動きながら」の具体的な状況と、「明らかに空中でボールをコントロールしたあと」の適用場面だと思います。

現在のところ、今年度の苫小牧地区で開催される夏季交歓大会（夏の全道大会）は新ルールの適用となるため、本地区でも春季大会より適用するつもりです。

B・LEAGUEではすでに適用されているようです。他地区の審判員から情報を集めている段階で、まだまだ細かい部分や具体的な適用については、情報不足です。ミニバスは指導者の方が審判員として活動する方が多いため、指導と審判どちらも混乱する状況が予想されます。

4月からの導入ということでイメージとしては、ゲームの中でトラベリングっぽいという感覚でトラベリングを判定されることを減らし、「疑わしきは罰せず」の精神をもって判定していただくことをお願いしたいと思います。

< これまでよく見られるケース >



動きながらボールをコントロールした状態やドリブルが終わるときについては、「1, 2, 3」と数えずに、「0, 1, 2」と数える。3歩目がトラベリングであることは変わらない。また、止まった状態でボールを保持した場合でも、これまでとルールは変わらない。

※ルールのとらえ方により指導の仕方も変わってくるかと思いますが、これまでの指導技術が間違いになるわけではありません。発達段階やルールの解釈について状況を見ながら、指導をしていくことが大切だと思います。今後も情報を収集し、整理できた時点で審判講習会を開催して、皆さんと共通理解を図りたいと思います。